

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスgoat				公表日	令和8年3月11日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5			現時点では、問題はないがよりスペースが確保できれば、支援の幅が広がるのではないかと。 静養室がほぼ1人ずつでの使用となっており、寒暖調整や換気も難しいスペースである。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5			パーテーション（間仕切り）はもう少しあっても良いと思われる。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	利用児に合わせて変更することもできている。 重身利用者は今の所ないがバリアフリー対応ではない、動線の分かり易さは○	もう少し静養室のような部屋を増やし、個別対応に使えたらなお良い。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		加湿器や空気清浄機があるのは○	事務室移転に伴って、1室増える予定なので、より有効活用できるのでは。 子ども用の小さい椅子があっても良いのでは。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		個別支援計画に沿って、PDCAサイクルに取り組んでいる。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3		外部評価の機会は検討中である。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		研修に前向きな事業所である。	伝達研修を行えると尚良いと思う。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		年1回見直しを継続したい。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5			面談日時の調整ミスが多かったため、以後気をつけたい。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		計画については、作成、検討に職員全員が関わることができている。また、支援前に必ず確認をして、共通理解を図っている。 策定会議を行い、職員の意見を集約しながら検討を進めている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		計画については、作成、検討に職員全員が関わることができている。また、支援前に必ず確認をして、共通理解を図っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		アセスメントツールを使用している。	より具体的な指標を出せるよう、当事業所に適したものを作成していきたい。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			地域支援、地域連携は今後の課題の一つである。一方家族支援の割合が大きくなりつつあり、より関係機関との繋がりが情報共有・協議の場が必要である。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		活動起案を基に話し合いを行い、立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		2ヶ月に一度の変更、2ヶ月内の同じメニューにおいても段階的にレベルアップする点など工夫できている。 前回の反省をもとに内容を見直すなどの強化が図られている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		子どもや保護者のニーズのずれがないよう、策定会議を用いながら作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		朝礼にて実施。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		支援終了後に関わらず、普段の支援の中でも振り返り、共有している。 翌日の朝礼にて実施。当日の支援が円滑に行われるように工夫している。 記録をとりながら児童の状況や支援の途中経過について共有しあっている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		記録の内容について、記載項目を取り決め、支援に必要な情報の記入漏れがないようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5		運動支援を中心としているが、偏りのない支援を目指し、支援を行っている。	社会経験を積み、地域との交流を持つ機会を少しずつ活動に取り入れていきたい。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		随時子ども達主体で選択、決定できる場面を設けている。(exおやつ、活動参加)		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			今後、担当制を導入し、固定の職員のみが参画するのではなく、児童に応じて、職員全員が臨機応変な対応をしていければと思う。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	定期受診時の情報提供を行っている。	連携はしているが件数は少なく 今後、もう少し充実して連携をしていきたい。 学校によって、協力的、消極的などところと差が生じている。理解を得にくい学校がある。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		電話、担当者会議、ケース会議の積極的開催、また相談支援専門員、SSWとの連携	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		入学前支援会議に可能な限り参加できた。 書類にて共有。 当事業所から働きかける形で情報を得るようにしている。	児童発達支援事業所とのつながりが弱い。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	2	対象児がいないが、情報提供できる体制は取れていると思う。	まだ関わったことがない まだ、該当児童がいないため。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	4		まだ関わったことがない 支援センター職員との個人的なやりとりはあるが、研修参加/機会が少ない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5		まだ関わったことがない 今後、週末休日などを利用し、イベントとして、他事業所や、地域の子どもたちと、交流できる場をもうけられればと思う。 イベント参加・開催を実施していきたい。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2	部会や連絡協議会に参加している。	なし
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		情報共有は図っている。	正確な情報を得にくいケース等共通理解の面で課題がある。	

保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2		実施していない 家族が参加できる研修（イベント）を来年度開催できればと思う。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に時間をかけて説明している他、要望があれば都度説明等の対応ができるようにしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		随時面談やヒアリングを行なっている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		電話での対応または午前中等事業所を開放し、いつでも保護者様が足を運べるよう対応している。	助言は行うが、主体が家族であり、実践に結びつかないケースが多い。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5		実施していない 学休日や長期休暇を利用して、親子イベントやワークショップ等を開催し、保護者間での情報共有の場を提供していきたい。 親子イベントから始められたら。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			確認されていない
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		児童の取り組みや活動の様子はもちろん、活動内容やその他のお知らせについても積極的に発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		TELや紙媒体の連絡帳だけでなく、アプリ内の連絡ツールも活用している。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		事業所でのイベントの際には、近隣住民へチラシを配布したり、SNS等で参加を呼びかけたりしている。	goatフェスのような形を定期開催したい。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		職員へは職員会議にて、また事務室に掲示する等にて周知。保護者へは契約時に対応フローチャートの配布等を実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		救出、災害時については随時実施。 毎月1回避難訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		常時服薬を必要とする児童はいないが、長期休み等について、要望があれば対応している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	インテークアセスメント時に確認している。	対応児童がいない 対象児がいないが、必要であれば医師と連携して対応したい。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		安全計画に沿って研修等を実施している。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		契約時に説明済み。何か変更があれば、都度共有。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハットがあった際にはその日のうちに情報共有を実施。報告書と共に再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		内部研修、外部研修を実施している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		契約時に時間をかけて説明している。また個別支援計画書にも記載し、対応を図っている。	